



吉井あきら

市政報告通信

Vol.15
2013.Oct

日増しに秋も深まり、朝夕は肌寒く感じます。皆様方におかれましては、益々ご健健にてお過ごしのこと、お喜び申し上げます。また平素より、温かく力強いご支援ご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。台風18号の被害に遭われた方には心からお見舞い申し上げますとともに、今回の災害を踏まえ改善すべき点は早急に対処して参ります。

～日本人として誇りを～

9月定例会本会議にて自民党市会議員団を代表して質問させていただきました。



台風18号による地下鉄の区間運休に対する総括と今後の対応

この度の台風18号により被害に遭われた皆様方に対し、心からお見舞い申し上げます。行政として災害緊急時は通常時の対応ではなく、市民目線での臨機応変な対応をしていくことが大切です。今回は地下鉄東西線御陵駅浸水により4日間運休となりました。今回の事態の総括と経営への影響はいかがですか。

答弁者/
門川大作 市長

災害時は臨機応変に対応していきます。浸水被害の再発防止に向けた安祥寺川を管理する京都府とプロジェクトチームを立ち上げ、京阪電鉄と共に周辺地域の河川改修を含め前向きに取り組んで参ります。



京都刑務所の敷地活用について(今後の山科を考えるきっかけに)

阪神甲子園球場3個分に相当する広大な土地を京都のまち50年後、100年後に向け、また市内の「最後のフロンティア」として有効活用すべきと考えます。今年、谷垣法務大臣にお時間を頂戴し訴えて参りました。どうか前へ進めていただきたいと思います。いかがですか。

答弁者/
門川大作 市長

この土地を例えば大学研究機関や文化芸術、スポーツの拠点施設の誘致など、まちの活性化のために利用していくことができれば、地下鉄の増容はもとより、山科、京都市の発展に多大な効果をもたらすものと考えます。吉井議員が谷垣法務大臣に直接要望されたことをお聞きし、その行動力と将来への熱い思いに触れ、私も4月に大臣にお会いし、一歩進めるべく中長期的に検討していただくよう国へ要望してまいります。



教科書採択について

私自身は教科書採択の重要性を強く訴えており、本市においては、子どもたちに対する教育の責任は自治体の教育委員会にあるということを強く認識、また教育委員がその権限と責任をしっかりと発揮し、教育基本法などの趣旨を踏まえ、我が国の郷土と現状と歴史について正しい理解に導き、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うことのできる歴史教科書を採択されることが重要だと考えますが、いかがですか。

答弁者/
生田義久 教育長

教科書は、子どもたちにとって最も基本となる重要な教材であり、本市では、教育委員会が選任する教員・保護者等が参画する選定委員会において、調査研究を行い、その答申を受け、厳正かつ公正な採択を行って参りました。そうしたなかで、議員御指摘のとおり、歴史の教科書は、我が国と郷土の現状と歴史について、児童・生徒に正しく理解させ、伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する態度を養うために極めて大切なものです。教育委員会の権限と責任のもと、我が国の伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子どもたちの育成に向け、本市の子どもたちに適した歴史の教科書の採択に努めて参ります。



「ごみ屋敷問題」・「ペット霊園」について

ごみ屋敷は現状法律上、何もできず、解決には地域の熱意に頼らざるを得ない状況です。また、ペット霊園についても、立地等を直接規制する法律がありません。それぞれ問題解決に向け、条例化も視野に入れ、取り組んでいただきたい。

答弁者/
門川大作 市長

ごみ屋敷問題・ペット霊園につきましては、条例化も視野に入れ全庁挙げたプロジェクトチームを立ち上げ、進めて参りたいと思います。

この他にも ●若杉学園(障がい者福祉施設)について 質問させていただきました。



質問の様子は京都市会HPでご覧いただけます。●京都市情報館 <http://www.city.kyoto.lg.jp/>



吉井あきら 全力で活動中!!



自民党京都府連 青年局政治大学セミナー



5月26日自民党京都府連青年局政治大学セミナーが開かれ、青年局長の小泉進次郎衆議院議員が京都に来られ、意見交換会・懇親会に参加しました。小泉進次郎衆議院議員は9月30日に内閣府大臣政務官兼復興大臣政務官に就任され被災地復興にご尽力されています!



参議院選挙



第23回参議院選挙が7月4日公示、21日投開票で行われました。京都選挙区では西田昌司参議院議員が再選を果たされ、全国的にも自民党が圧勝し衆参ねじれを解消しました。吉井あきらも毎日選挙応援に走りまわりました! 今回の参議院選挙では西田昌司候補の応援に吉井あきらが尊敬する稲田朋美行政改革担当大臣も駆け付けられ、吉井あきらが大臣の随行をさせていただきました。



今年度も被災地訪問!

9月12日、13日と自民党青年局の有志の皆さんと被災地視察に行っていました。今回は仙台市→女川町→石巻市と視察してきました。それぞれの市や町を訪問させていただき感じたのは、同じ被災地であっても場所によって復興の進捗状況は全く違うということです。京都市では被災地復興のため多数の職員を継続的に派遣しており、今後も支援を続ける予定ですが、来年度以降も女川町、石巻市では派遣職員を要請しておりますが、仙台市ではもう必要ないとのこと、それぞれの地域に合った復興支援が今後必要だと実感しました。復興にはまだまだ時間も人手もかかります。様々な地域で必要とされている支援に細かく対応できるように、対処していきたいと思えます。また、皆さんからの義援金、寄付金は法律で国、市町村の予算をどうしても使えないところに大切に使用されているそうです。マスコミ等の報道でネガティブなところが目立ちますが概ね順調に進んでいるということです。やはり現地に行かなければわからないことばかりで、毎年来て良かったと思えます。自身これからも現地現場主義を貫きたいと思えます。

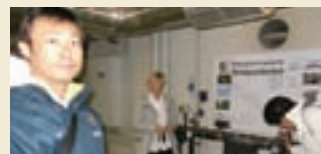


女川町長、京都市から派遣職員さん、青年局有志の皆さんと



再生可能エネルギーに関する海外調査

平成25年1月25日～2月4日まで海外行政調査にドイツ・バルセロナに行き参りました。省エネルギー社会に向け、脱原発を見据えた再生可能エネルギーの推進を中心に、当該分野における先進都市の施策等を調査することにより、京都市が抱える諸問題を解決し、更なる発展に寄与するため、各都市の取組や施設等を調査しました。



京都市会議員として7年目に入り、京都市発展のため市民の皆様からのご意見・ご要望を真摯に聞かせていただき「すぐに行動」「現地・現場主義」をモットーに全力を尽くして今後も頑張っています。また、自由民主党の議員として多岐にわたる研修や勉強会において様々な方面の見識を深め、常に向上心を持ち、初心忘れることなく、全身全霊全力で頑張っていますので、皆様方の温かく力強いご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成25年10月 吉日

京都市会議員 吉井あきら

